

2級建築士設計製図

# アンダーラインの引き方

課題文の読み取り  
RC造

SAMPLE

名古屋建築資格学院<sup>®</sup>

nagoya architecture designer qualification academy

複写禁止・譲渡禁止

## アンダーラインの引き方(課題文の読み取り)

減点の少ない図面を作図するために当学院では、3回のチェックをします。  
本試験では、自分自身で図面をチェックしてケアレスミスをなくします。



黄色…エスキスで必要な箇所

緑色…面積条件のチェック。エスキス完了時のチェック。

青色…書込み項目(いす・テーブル・冷蔵庫・洗面陶器等)。最終チェック。

### 1回目のチェック(黄色)

- ①エスキスで必要となる部分だけにマーカする。  
例:レストラン部分と住宅部分は**出入口口を明確に分離する。**
- ②2回目、3回目のチェック項目の部分にアンダーラインを引く。  
例:**テーブル・いす(8席程度)**を設ける。

### 2回目のチェック(緑色)

- ①エスキス終了時にチェックします。
- ②1回目のチェックで黄色でマーカした箇所の条件を守っていれば、上から緑色を重ねます。
- ③面積条件をクリアしているかチェックします。

### 3回目のチェック(青色)

- ①作図終了時にチェックします。
- ②書込み項目(門・屏・植栽・屋外テラス、流し台・調理台・コンロ台、通し柱・耐力壁・断面記号など)。
- ③1回目・2回目のチェックでマーカした箇所の条件を守っていれば、上から青色を重ねます。

最終的に全て青色になってチェック完了です。

課題1「地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅(鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建)」

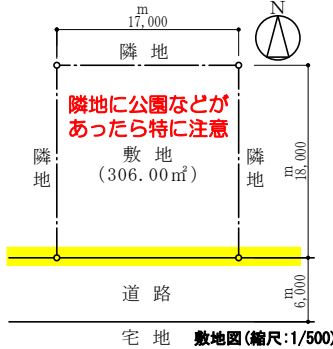
1回目のチェック (課題文の読み込み)

黄色のマーカー…エスキスで必要な箇所  
アンダーライン…2回目、3回目のチェックで必要な箇所

1. 設計条件

ある地方都市において、地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅を計画する。計画に当たっては、次の①～⑤に特に留意する。

- ① 店舗部分と住宅部分とは、出入口を明確に分離し、屋内で行き来出来ないようにする。
- ② 道路から上記出入口へのアプローチは、それぞれ独立して設け兼用してはならない。来客に配慮して店舗の出入口ポーチには屋外スロープを計画する。
- ③ 店舗部分への商品の搬入・スタッフの出入りのための厨房用通用口を設ける。
- ④ 2階部分の屋上(3階フロアレベル)に3階から利用できるルーフバルコニーを設ける。
- ⑤ 建築物の耐震性を確保する。



(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。
- ウ. 塔屋(ペントハウス)は設けられないものとする。

(3) 延べ面積

- ア. 延べ面積は、必ず「230㎡以上、290㎡以下」とする。(一発失格項目)
- イ. 住宅部分の床面積の合計は、必ず「200㎡以下」とする。
- ウ. ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース、屋外スロープ、ルーフバルコニー、エレベーターシャフト等は、床面積に算入しないものとする。

この範囲を絶対厳守です (一発失格項目)

(4) 人員構成等

- ア. 住宅部分：親夫婦(60歳代)、夫婦(40歳代)、子供(女子中学生) **5人**
- イ. 店舗部分：従業員3名 **3人**

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室名	特記事項	床面積
1階	喫茶スペース	ア. 履物は履き替えないものとする。 イ. カウンター及びテーブル席を20席以上設ける。 ウ. 厨房(9㎡以上)を設ける。厨房用通用口を設け、歩-ピス車両と行き来できるようにする。	40㎡以上(厨房を除く)
	倉庫	・喫茶スペースより使用する。	6㎡以上
	事務室	ア. 3名分の事務机を設ける。 イ. ミニキッチンを設ける。	適宜
	多目的便所	ア. 広さは、心々3,000mm×2,000mm以上とする。 イ. 出入口は引戸とし、幅の内法は、800mm以上とする。 ウ. 洋式便器、手摺及び手洗い器、を設ける。	
2階	玄関ホール	ア. 下足入れを設ける。 イ. 住宅用のエレベーター及び階段の使用に当たっては、履物を履き替えるものとする。	適宜
	居間・食事室・台所	・1室にまとめる。	30㎡以上
2階	夫婦室	・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクローゼット(10㎡以上)を設ける。	20㎡以上(ウォークインクローゼットを除く)
	浴室		4㎡以上
	洗面脱衣室		4㎡以上
	便所	・洋式便器を設ける。	4㎡以上
	納戸		8㎡以上
3階	夫婦室	・洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。	適宜
	子ども室	・収納を設ける。	
3階	便所	・洋式便器を設ける。	

(注1) 住宅部分において、1階から3階は階段の他にエレベーター(1基)で連絡する。

(6) エレベーター及びスロープ

- ア. 建築物内に、住宅部分にエレベーター1基を設ける。
- イ. エレベーターシャフトは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。
- ウ. 駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし機械室は設けない。
- エ. 出入口の幅の内法は、800mm以上とする。
- イ. 1階喫茶スペースへのアプローチの計画において高低差が生じる場合は、屋外スロープ(勾配は1/15以下)を設ける。

(7) 屋外施設

サービス用とは、店舗スタッフ用・搬入用のことを示す。

- ア. 駐車スペース(来客用として車いす使用者用1台分・サービス用1台分・住宅用1台分)計3台分を計画する。
- イ. 自転車5台分(来客用)の駐輪スペースを計画する。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法。 ・室名等。 ・断面図の切斷位置及び方向。
(2) 2階平面図 (1/100)	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離。 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース、門、塀、植栽等。
(3) 3階平面図 (1/100)	・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・店舗部分の喫茶スペースの床高、住宅部分の玄関ポーチ及び玄関の土間の地盤面からの高さ、玄関ホールの床高。 ・玄関…下足入れ。 ・喫茶スペース…テーブル、カウンター、レジ、いす、喫茶スペースの厨房に厨房設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)。 ・多目的便所…洋式便器、手摺、手洗い器、おむつ替え用台。 ・事務室…机、椅子、ミニキッチン。
(4) 立面図 (1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ウ. 屋外スロープについては、外観で見える場合に記入する。
(5) 断面図 (1/100)	ア. 切斷位置は、東西方向とし、ルーフバルコニー及び1階・2階・3階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、スラブ、地中梁等)を記入する。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。 エ. ルーフバルコニーの手摺の高さを記入する。
(7) 部分詳細図(断面) (1/20)	ア. 切斷位置は、外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、R階大梁部分(3階の大梁下端から下方400mm以上及びパラベット天端を含む部分)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部材の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(梁、スラブ、壁など)の断面寸法を記入する。 オ. 外気に接する部分(外壁、その他必要と思われる部分)の断熱措置を記入する。 カ. 主要な部位(外壁、内壁、3階天井及び3階防水)の仕上材料名を記入する。
(7) 面積表	ア. 建築面積、床面積、住宅部分の床面積の合計及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(9) 主要構造部材表	ア. 主要な1階柱並びに2階床大梁及び3階床大梁断面寸法を記入する。 イ. 主要な外壁並びに2階床スラブ及び3階床スラブの厚さを記入する。
(10) 計画の要点等	・建築物及び敷地の計画に関する次の①～②について、具体的に記述する。 ①道路から建築物へのアプローチについて、工夫した点。 ②住宅部分について、配慮した点。

1回目のチェックのポイント

●エスキスに關係する箇所が最も重要

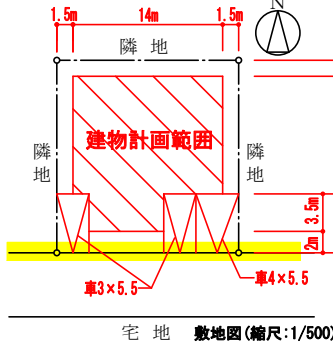
課題1

緑のマーカー…①自分のエスキスが条件を満たしている時  
黄色のマーカーの上から色を重ねる。  
②面積条件を確認し、クリアしていればマージングする。

2回目のチェック (エスキス終了時)

1. 設計条件

- ある地方都市において、地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅を計画する。計画に当たっては、次の①～⑤に特に留意する。
- ①店舗部分と住宅部分とは、出入口を明確に分離し、屋内で行き来出来ないようにする。
- ②道路から上記出入口へのアプローチは、それぞれ独立して設け兼用してはならない。来客に配慮して店舗の出入口ポーチには屋外スロープを計画する。
- ③店舗部分への商品の搬入・スタッフの出入りのための厨房用通用口を設ける。
- ④2階部分の屋上(3階フロアレベル)に3階から利用できるルーフバルコニーを設ける。
- ⑤建築物の耐震性を確保する。



(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。
- ウ. 塔屋(ペントハウス)は設けられないものとする。

(3) 延べ面積

- ア. 延べ面積は、必ず「230㎡以上、290㎡以下」とする。
- イ. 住宅部分の床面積の合計は、必ず「200㎡以下」とする。
- ウ. ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース、屋外スロープ、ルーフバルコニー、エレベーターシャフト等は、床面積に算入しないものとする。

目安 中間値 260㎡+EV

(4) 人員構成等

- ア. 住宅部分：親夫婦(60歳代)、夫婦(40歳代)、子供(女子中学生)
- イ. 店舗部分：従業員3名

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

階段・EV

設置階	室名	特記事項	床面積
1階	喫茶スペース	ア. 履物は履き替えないものとする。 イ. カウンター及びテーブル席を20席以上設ける。 ウ. 厨房(9㎡以上)を設ける。厨房用通用口を設け、サービス車両と行き来できるようにする。	40㎡以上 (厨房を除く)
	倉庫	・喫茶スペースより使用する。	6㎡以上
	事務室	ア. 3名分の事務机を設ける。 イ. ミニキッチンを設ける。	15
	多目的便所	ア. 広さは、心々3,000mm×2,000mm以上とする。 イ. 出入口は引戸とし、幅の内法は、800mm以上とする。 ウ. 洋式便器、手摺及び手洗い器、を設ける。	6
2階	玄関ホール	ア. 下足入れを設ける。 イ. 住宅用のエレベーター及び階段の使用に当たっては、履物を履き替えるものとする。	8
	居間・食事室・台所	・1室にまとめる。	30㎡以上
	夫婦室	・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクローゼット(10㎡以上)を設ける。	20㎡以上 (ウォークインクローゼットを除く)
	浴室	・4㎡以上	4
3階	洗面脱衣室	・4㎡以上	4
	便所	・洋式便器を設ける。	4
	納戸	・4㎡以上	8
	夫婦室	・洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。	13+5
住宅部分	子ども室	・収納を設ける。	9+4
	便所	・洋式便器を設ける。	4

(6) エレベーター及びスロープ

- ア. 建築物内に、住宅部分にエレベーター1基を設ける。
- イ. エレベーターシャフトは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。
- ウ. 駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし機械室は設けない。
- エ. 出入口の幅の内法は、800mm以上とする。
- イ. 1階喫茶スペースへのアプローチの計画において高低差が生じる場合は、屋外スロープ(勾配は1/15以下)を設ける。

(7) 屋外施設

- ア. 駐車スペース(来客用として車いす使用者用1台分・サービス用1台分・住宅用1台分)計3台分を計画する。
- イ. 自転車5台分(来客用)の駐輪スペースを計画する。

1Fと2Fが近似値で最大なので1F=110㎡を  
建物の奥行き(8m・9m・10m)で割り、間口を出す

奥行	間口	1フロアの面積
8m	14m	112㎡
9m	12m	108㎡
10m	11m	110㎡

→ 建物の外形が、この中で敷地に納まるものを選びエスキスを進めていく

※床面積の計算では足したEVの面積はマイナスとなる。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法。 ・室名等。 ・断面図の切斷位置及び方向。 イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離。 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース、門、扉、植栽等。 ・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・店舗部分の喫茶スペースの床高、住宅部分の玄関ポーチ及び玄関の土間の地盤面からの高さ、玄関ホールの床高。 ・玄関…下足入れ。 ・喫茶スペース…テーブル、カウンター、レジ、いす、喫茶スペースの厨房に厨房設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)。 ・多目的便所…洋式便器、手摺、手洗い器、おむつ替え用台。 ・事務室…机、椅子、ミニキッチン。 ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 ・1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)。 ・居間・食事室・台所…テーブル、椅子、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)。 ・親夫婦室…ベッド。 ・便所…洋式便器、手洗い器、手摺。 ・洗面脱衣室…洗面台、洗濯機。 ・浴室…浴槽。 エ. 3階平面図には、次のものを記入する。 ・2階の屋根伏図(平屋部分がある場合)。 ・部分詳細図(断面)の切斷位置及び方向。 ・夫婦室…ベッド。 ・子ども室…ベッド、机。 ・便所…洋式便器、手洗い器。
(2) 2階平面図 (1/100)	
(3) 3階平面図 (1/100)	
(4) 立面図 (1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ウ. 屋外スロープについては、外観で見える場合に記入する。
(5) 断面図 (1/100)	ア. 切斷位置は、東西方向とし、ルーフバルコニー及び1階・2階・3階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のもとし、構造部材(梁、スラブ、地中梁等)を記入する。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。 エ. ルーフバルコニーの手摺の高さを記入する。
(7) 部分詳細図(断面) (1/20)	ア. 切斷位置は、外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、R階大梁部分(3階の大梁下端から下方400mm以上及びパラベット天端を含む部分)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(梁、スラブ、壁など)の断面寸法を記入する。 オ. 外気に接する部分(外壁、その他必要と思われる部分)の断熱措置を記入する。 カ. 主要な部位(外壁、内壁、3階天井及びR階防水)の仕上材料名を記入する。
(7) 面積表	ア. 建築面積、床面積、住宅部分の床面積の合計及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(9) 主要構造部材表	ア. 主要な1階柱並びに2階床大梁及び3階床大梁断面寸法を記入する。 イ. 主要な外壁並びに2階床スラブ及び3階床スラブの厚さを記入する。
(10) 計画の要点等	・建築物及び敷地の計画に関する次の①～②について、具体的に記述する。 ①道路から建築物へのアプローチについて、工夫した点。 ②住宅部分について、配慮した点。

エスキスが面積をクリアしているかチェック

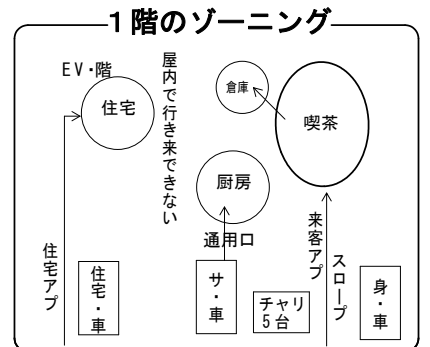
1Fの合計 92㎡+廊下

2Fの合計 88㎡+廊下

3Fの合計 43㎡+廊下

大体の廊下の面積を求めるには1.2倍する。

1F×1.2≒110㎡  
2F×1.2≒106㎡  
3F×1.2≒52㎡



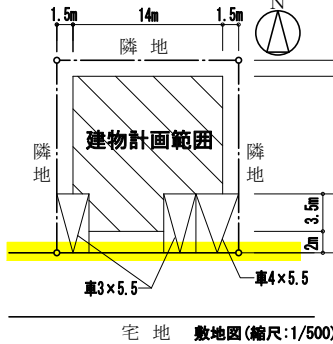
課題1

青のマーカ― …作図完了時に、全ての項目にミスがないか確認しながらチェックしていく。  
例：門、塀、植栽など各要求図面のひとつひとつの項目をチェックして下さい。

3回目のチェック (作図完了時)

1. 設計条件

- ある地方都市において、地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅を計画する。計画に当たっては、次の①～⑤に特に留意する。
- 店舗部分と住宅部分とは、出入口を明確に分離し、屋内で行き来出来ないようにする。
  - 道路から上記出入口へのアプローチは、それぞれ独立して設け兼用してはならない。来客に配慮して店舗の出入口ポーチには屋外スロープを計画する。
  - 店舗部分への商品の搬入・スタッフの出入りのための厨房用通用口を設ける。
  - 2階部分の屋上(3階フロアレベル)に3階から利用できるルーフバルコニーを設ける。
  - 建築物の耐震性を確保する。



(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右図のとおりである。  
イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。  
ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。  
エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。  
オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。  
イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。  
ウ. 塔屋(ペントハウス)は設けられないものとする。

(3) 延べ面積

- ア. 延べ面積は、必ず「230㎡以上、290㎡以下」とする。  
イ. 住宅部分の床面積の合計は、必ず「200㎡以下」とする。  
ウ. ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース、屋外スロープ、ルーフバルコニー、エレベーターシャフト等は、床面積に算入しないものとする。

目安 中間値 260㎡+EV  
室名-全く同じ室名で記載したかチェックし色を塗る

(4) 人員構成等

- ア. 住宅部分：親夫婦(60歳代)、夫婦(40歳代)、子供(女子中学生)  
イ. 店舗部分：従業員3名

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

階段・EV

設置階	室名	特記事項	床面積
1階	喫茶スペース	ア. 履物は履き替えないものとする。 イ. カウンター及びテーブル席を20席以上設ける。 ウ. 厨房(9㎡以上)を設ける。厨房用通用口を設け、サービス車両と行き来できるようにする。	40㎡以上 (厨房を除く)
	倉庫	・喫茶スペースより使用する。	6㎡以上
	事務室	ア. 3名分の事務机を設ける。 イ. ミニキッチン(2.000mm以上)を設ける。	6
	多目的便所	ア. 広さは、心々3,000mm×2,000mm以上とする。 イ. 出入口は引戸とし、幅の内法は、800mm以上とする。 ウ. 洋式便器、手摺及び手洗い器を設ける。	適宜
住宅部分	玄関ホール	ア. 下足入れを設ける。 イ. 住宅用のエレベーター及び階段の使用に当たっては、履物を履き替えるものとする。	適宜
	居間・食事室・台所	・1室にまとめる。	30㎡以上
2階	夫婦室	・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクローゼット(10㎡以上)を設ける。	20㎡以上 (ウォークインクローゼットを除く)
	浴室		4㎡以上
	洗面脱衣室		4㎡以上
	便所	・洋式便器を設ける。	4㎡以上
住宅部分	夫婦室	・洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。	13+5
	子ども室	・収納を設ける。	9+4
	便所	・洋式便器を設ける。	4

(6) エレベーター及びスロープ

- ア. 建築物内に、住宅部分にエレベーター1基を設ける。  
イ. エレベーターシャフトは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。  
・駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし機械室は設けない。  
・出入口の幅の内法は、800mm以上とする。  
イ. 1階喫茶スペースへのアプローチの計画において高低差が生じる場合は、屋外スロープ(勾配は1/15以下)を設ける。

(7) 屋外施設

- ア. 駐車スペース(来客用として車いす使用者用1台分・サービ用1台分・住宅用1台分)計3台分を計画する。  
イ. 自転車5台分(来客用)の駐輪スペースを計画する。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。  
b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。  
c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。  
d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

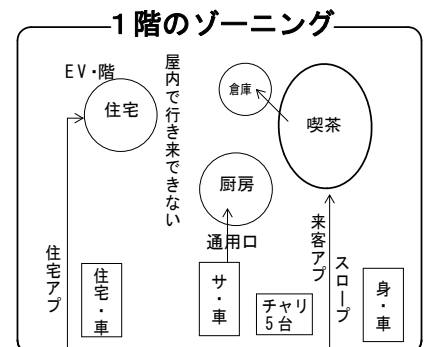
要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な <b>寸法</b> 、 <b>室名等</b> 、 <b>断面図の切断位置及び方向</b> イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との <b>距離</b> ・道路から建築物への <b>アプローチ</b> 、 <b>屋外スロープ</b> 、 <b>駐車スペース</b> 、 <b>駐輪スペース</b> 、 <b>門</b> 、 <b>塀</b> 、 <b>植栽等</b> ・ <b>道路から敷地及び建築物への出入口</b> には、 <b>▲印</b> を付ける。 ・ <b>店舗部分の喫茶スペースの床高</b> 、 <b>住宅部分の玄関ポーチ及び玄関の土間の地盤面からの高さ</b> 、 <b>玄関ホールの床高</b> ・玄関・ <b>下足入れ</b> 、 <b>喫茶スペース</b> ・ <b>テーブル</b> 、 <b>カウンター</b> 、 <b>レジ</b> 、 <b>いす</b> 、 <b>喫茶スペースの厨房に厨房設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)</b> ・多目的便所・ <b>洋式便器</b> 、 <b>手摺</b> 、 <b>手洗い器</b> 、 <b>おむつ替え用台</b> 、 <b>事務室</b> ・ <b>机</b> 、 <b>椅子</b> 、 <b>ミニキッチン</b> ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 ・ <b>1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)</b> ・居間・食事室・台所・ <b>テーブル</b> 、 <b>椅子</b> 、 <b>台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)</b> ・親夫婦室・ <b>ベッド</b> ・便所・ <b>洋式便器</b> 、 <b>手洗い器</b> 、 <b>手摺</b> ・洗面脱衣室・ <b>洗面台</b> 、 <b>洗濯機</b> ・浴室・ <b>浴槽</b> エ. 3階平面図には、次のものを記入する。 ・ <b>2階の屋根伏図(平屋部分がある場合)</b> ・ <b>部分詳細図(断面)の切断位置及び方向</b> ・夫婦室・ <b>ベッド</b> ・子ども室・ <b>ベッド</b> 、 <b>机</b> ・便所・ <b>洋式便器</b> 、 <b>手洗い器</b>
(2) 2階平面図 (1/100)	
(3) 3階平面図 (1/100)	
(4) 立面図 (1/100)	ア. <b>南側立面図</b> とする。 イ. <b>建築物の最高の高さ</b> を記入する。 ウ. <b>屋外スロープ</b> については、 <b>外観で見える場合</b> に記入する。
(5) 断面図 (1/100)	ア. 切断位置は、 <b>東西方向</b> とし、 <b>ルーフバルコニー及び1階・2階・3階それぞれの開口部を含む部分</b> とする。 イ. <b>建築物の外形</b> 、 <b>床面及び天井面の形状がわかる程度</b> のものとし、 <b>構造部材(梁、スラブ、地中梁等)</b> を記入する。 ウ. <b>建築物の最高の高さ</b> 、 <b>軒高</b> 、 <b>階高</b> 、 <b>天井高</b> 、 <b>1階床高</b> 、 <b>開口部の内法寸法</b> 及び <b>主要な室名</b> を記入する。 エ. <b>ルーフバルコニーの手摺の高さ</b> を記入する。
(7) 部分詳細図(断面) (1/20)	ア. <b>切断位置は、外壁を含む部分</b> とする。 イ. 作図の範囲は、 <b>R階大梁部分</b> の階の大梁下端から下方400mm以上及びパラベット天端を含む部分とし、 <b>外壁の柱心から1,000mm以上</b> とする。 ウ. <b>主要部の寸法等</b> を記入する。 エ. <b>主要部材(梁、スラブ、壁などの断面寸法)</b> を記入する。 オ. <b>外気に接する部分(外壁、その他必要と思われる部分)の断熱措置</b> を記入する。 カ. <b>主要な部位(外壁、内壁、3階天井及びR階防水)の仕上材料名</b> を記入する。
(7) 面積表	ア. <b>建築面積</b> 、 <b>床面積</b> 、 <b>住宅部分の床面積の合計</b> 及び <b>延べ面積</b> を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、 <b>計算式</b> も記入する。 ウ. 計算結果は、 <b>小数点以下第2位まで</b> とし、 <b>第3位以下は切り捨てる</b> 。
(9) 主要構造部材表	ア. 主要な <b>1階柱並びに2階床大梁及び3階床大梁断面寸法</b> を記入する。 イ. 主要な <b>外壁並びに2階床スラブ及び3階床スラブの厚さ</b> を記入する。
(10) 計画の要点等	・建築物及び敷地の計画に関する次の①～②について、具体的に記述する。 ① <b>道路から建築物へのアプローチ</b> について、 <b>工夫した点</b> ② <b>住宅部分</b> について、 <b>配慮した点</b>

大体の廊下の面積を求めるには1.2倍する。

$$1F \times 1.2 \approx 110m^2$$

$$2F \times 1.2 \approx 106m^2$$

$$3F \times 1.2 \approx 52m^2$$



※青チェックした後に、もう一度課題文だけ見直して、黄色や緑色の部分があった場合、そこだけ図面と照らし合わせれば完璧な図面となり、100%合格です。

課題1「地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅(鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建)」

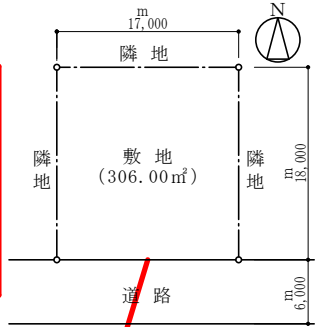
決まり文句

1. 設計条件

- ある地方都市において、地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅を計画する。計画に当たっては、次の①～⑤に特に留意する。
- ①店舗部分と住宅部分とは、出入口を明確に分離し、屋内で行き来出来ないようにする。
  - ②道路から上記出入口へのアプローチは、それぞれ独立して設け兼用してはならない。来客に配慮して店舗の出入口ポーチには屋外スロープを計画する。
  - ③店舗部分への商品の搬入・スタッフの出入りのための厨房用通用口を設ける。
  - ④2階部分の屋上(3階フロアレベル)に3階から利用できるルーフバルコニーを設ける。
  - ⑤建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷地 **決まり文句①**

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右図のとおりである。  
 イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。  
 ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。  
 エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。  
 オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



(2) 構造、階数、建築物の高さ

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。  
 イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。  
 ウ. 塔屋(ペントハウス)は設けないものとする。

(3) 延べ面積

- ア. 延べ面積は、必ず「230㎡以上、290㎡以下」とする。  
 イ. 住宅部分の床面積の合計は、必ず「200㎡以下」とする。  
 ウ. ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース、屋外スロープ、ルーフバルコニー、エレベーターシャフト等は、床面積に算入しないものとする。

(4) 人員構成等

- ア. 住宅部分：親夫婦(60歳代)、夫婦(40歳代)、子供(女子中学生)  
 イ. 店舗部分：従業員3名

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室名	特記事項	床面積
1階	店舗部分	喫茶スペース ア. 履物は履き替えなものとする。 イ. カウンター及びテーブル席を20席以上設ける。 ウ. 厨房(9㎡以上)を設ける。厨房用通用口を設け、サービス車両と行き来できるようにする。	40㎡以上 (厨房を除く)
		倉庫 ・喫茶スペースより使用する。	6㎡以上
		事務室 ア. 3名分の事務用を設ける。 イ. ミニキッチンを設ける。	適宜
	多目的便所 ア. 広さは、心寸3,000mm×2,000mm以上とする。 イ. 出入口は引戸とし、幅の内法は、800mm以上とする。 ウ. 洋式便器、手摺及び手洗い器、を設ける。	適宜	
住宅部分	玄関ホール ア. 下足入れを設ける。 イ. 住宅用エレベーター及び階段の使用に当たっては、履物を履き替えるものとする。	適宜	
2階	居間・食卓室・台所 ・1室にまとめる。	30㎡以上	
	夫婦室 ・洋室と、ベッド(計2台)、ウォークインクローゼット(10㎡以上)を設ける。	20㎡以上 (ウォークインクローゼットを除く)	
	浴室	4㎡以上	
	洗面脱衣室	4㎡以上	
	便所	4㎡以上	
	納戸	8㎡以上	

2. 要求図書

決まり文句②

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。  
 b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。  
 c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。  
 d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

決まり文句③

要求図書( )内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法。 ・室名等 ・断面図の切斷位置及び方向
(2) 2階平面図 (1/100)	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース、門、塀、植栽等
(3) 3階平面図 (1/100)	・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・店舗部分の喫茶スペースの床高、住宅部分の玄関ポーチ及び玄関の土間の地盤面からの高さ、玄関ホールの床高 ・玄関…下足入れ、 ・喫茶スペース…テーブル、カウンター、レジ、いす、喫茶スペースの厨房に厨房設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等) ・多目的便所…洋式便器、手摺、手洗い器、おむつ替え用台 ・事務室…机、椅子、ミニキッチン
(4) 立面図 (1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ウ. 屋外スロープについては、外観で見える場合に記入する。
(7) 面積表	ア. 建築面積、床面積、住宅部分の床面積の合計及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(9) 主要構造部材表	ア. 主要な1階柱並びに2階床大梁及び3階床大梁断面寸法を記入する。 イ. 主要な外壁並びに2階床スラブ及び3階床スラブの厚さを記入する。
(10) 計画の要点等	・建築物及び敷地の計画に関する次の①～②について、具体的に記述する。 ①道路から建築物へのアプローチについて、工夫した点 ②住宅部分について、配慮した点

敷地図に(注)がついて条件を付け加えがある時は、そこが重要ポイントになります。

- 例 H25年**  
 (注) 交差点付近の歩道の斜線部分には、駐車のためのアプローチを計画してはならない
- 例 H19年**  
 (注) 敷地内における交差点付近の斜線部分には、駐車スペース及びその出入口を計画してはならない。
- 例 H17年**  
 (注) 生垣・植栽等スペース(道路側の斜線部分)  
 ア. 敷地の前面道路に接する部分の長さの1/2以上の部分に生垣・植栽を計画する。  
 イ. 生垣・植栽以外は、「住宅等へのアプローチ」及び「門」に限り設けることができるものとする。ただし、「軒及びびさしの一部分」は突き出してもよい。
- 例 H13年**  
 注1. 斜線部分は駐車、駐輪、通路、植栽等のスペースとし、建築物は計画してはならない。  
 注2. 既存樹木(枝張り3.6m)は、現在の位置に保存するものとし、この部分には建築物は計画してはならない。

※決まり文句の部分は、必ず毎回目を通すクセをつけましょう。出題者はここに作図上のポイントを記載してくる傾向があります。

決まり文句①に変更があった年度の例

H18年…隣地からの出入口を設ける条件

- オ. 公園から敷地への出入口は、適宜設定できるものとする。

H19年…駐車スペースとその出入口を設けてはいけない箇所を指示

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。なお、敷地内における交差点付近の斜線部分には、交通上の安全に配慮して、駐車スペース及びその出入口を計画してはならない。

H21年…準防火地域の指定

- イ. 近隣商業地域内にあり、準防火地域に指定されている。

決まり文句②に変更があった年度の例

H20年…手摺の記入箇所・記入しなくて良い箇所を指示

- e. 手摺は、屋外テラス、屋外スロープ及び来客用便所を除き、記入しなくてよいものとする。

いつもと違う時は特に注意が必要です!

決まり文句③は、ほとんど同じ表現ですが、細かく作図ポイントを指示してきますので、いつもと違うところに注意して、チェックして下さい。

